



堀君 伊藤君 棒田君 窪田君 松本君 垣野君 岩崎君

## まっすぐ 楽しく 相撲道

### 第28回北海道中学校相撲大会 当別中学校代表選手

7月29日に当別神社で開催された中学生の相撲全道大会に町の代表で出場した当別中学校の選手は、大会わずか1ヶ月前に相撲と触れたばかりという、7名の選手でした。

#### えっ？ 吹奏楽部から相撲大会に

(財)日本中学校体育連盟が行った平成17年度部活動調査によると、北海道の男子中学生が加盟している部活動のうち、最も人数が多い競技が野球、続いてサッカー、バスケットボールという順位で、相撲部に所属する北海道の中学生は僅か6名という結果でした。

その「相撲」の全道大会が今年当別を会場に開催されることになり、開催地の当別中学校では大会準備とともに選手集めもスタートしました。

相撲は国技と呼ばれていますが今の中学生にとっては「テレビでたまに見るくらい」というまったく未知の世界。選手募集の呼びかけにも、なかなか手が上がりませんでした。ある選手は先生に熱心に勧められ、別の選手は友達に頼まれ「シブシブ」と動機は様々でしたが、サッカー部から窪田君、岩崎君、伊藤君、堀君、野球部か

ら垣野君、バスケ部から棒田君、吹奏楽部から松本君と7名の精鋭が集い、特訓が始まりました。

#### 真剣な稽古が 真剣な表情をつくる

最初はまわし姿を同級生たちに見られることも恥ずかしく、ステージ上で幕を下ろして周囲から見えない所で練習していました。

当別で古くから相撲の伝統を守ってきた当別相撲国技会の会員の方々の指導により、まわしのつけ方、すり足、当たりといった基本から始め、稽古を重ねるにつれ、相撲の技と心が次第に身につくまで鍛えられました。

選手の中には本来所属する部活動での日頃の練習よりも「キツかった」という選手もいたほどの稽古を重ね、「当初からは見違えるほどのレベルに」とは担当した当別中の城野教諭。

作戦は？「特になし」と言って臨んだ全道大会では特訓の成果を発揮して、5チーム出場の団体戦でAチームが3位、25名出場の個人戦で窪田君が3位に入賞。

“まわしを着け相撲を取る”という、予想もしていなかった世界に飛び込んで、改めてスポーツの楽しさに触れた選手たちの、他の学校の相撲部員と対戦した感想は？「みんなかなり重い。」

結果や成績を求めること以上に、何事にも前向きに、そして楽しんで取り組むことの大切さを「力士」たちの奮闘が教えてくれました。



全道大会の熱戦 (7/29 当別神社)